



「コミスタ神戸1階のあづま幼稚園の園児たち!!」



楽しんでひとときでした

< 題字・神戸市長 久元喜造 筆 >



編集発行
神戸老眼大学会
神戸市中央区吾妻通4丁目1-6
神戸市生涯学習支援センター内
電話・ファックス (078) 251-5586
印刷
インパクト プラン
電話 (078) 792-7781

令和6年(2024)年

新年に寄せて



神戸市長

久元 喜造

新しい年を迎えるにあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

2023年は、新型コロナウイルスが感染症法上の2類から5類へ変更され、日常生活へ復帰する目的が立ちました。この危機を乗り越えられたのは、医療従事者のみなさんの献身的なご尽力をはじめ、多くの方々にご協力いただいたおかげです。心より感謝申し上げます。

一方で、少子高齢化や東京一極集中などウイルス出現前からの課題は存在し続け、人口減少時代における政策展開が求められます。神戸市では、人口減少幅を抑制する取り組みとして、

- 1 時代に遅れぬこと
- 2 楽しく毎日を暮らすこと
- 3 社会のためになること

若年世代にとって魅力的なまちであり続けるよう、切れ目ない子育て支援をはじめ、スタートアップ施策や企

新年あけましておめでとうございます。



増田 和幸

神戸市生涯学習支援センター長

新年あけましておめでとうございます。

老眼大学の皆さまにとって、より良い年になりますようにお祈りします。さて、今年はその初めから、不幸な出来事が起こりました。能登地方での震災では、

け、果敢に挑戦していきま

す。本年5月17日には、東アジアで初めてとなる世界パラ陸上競技選手権大会が神戸で開催されます。障がい

や多様性に対する理解が深まり、共生社会をつくっていく

ため、取り組みを進めていきます。市民のみなさん

にも、ボランティアや大会広報など広くご協力いただき

き、共に大会を盛り上げていただくようお願いいたします。

また、2025年には大阪・関西国際万博の開催や神戸空港の国際チャーター便運用が始まります。観光

たな活動の姿を形作った年であったと思います。老眼

大学の活動や老眼大学の運営に熱心に取り組んでい

ただいていることに感謝しています。老眼大学で映写

した各部・サークルの活動の動画、ホームページから

の発信、新たに導入したデジタルサイネージでの行事

の広報など積極的な発信に努められました。

ところで、昨年はコミスタこうべにとっても大きな変化の年でした。

ビジネス需要の創出を推進し、市内経済に波及させながら、国際都市神戸としての価値を一層高めていく取り組みを推進していきます。

現在神戸市では、市が目指すまちの将来像や方向を描く新たな総合基本計画の策定を進めています。是非

みなさんからも神戸の未来についてご意見をいただき、神戸市政に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、全国に先がけて発足しました神戸市老眼大学とその同窓生による老眼大学会も、62年もの長きにわ

たな活動の姿を形作った年であったと思います。老眼

大学の活動や老眼大学の運営に熱心に取り組んでい

ただいていることに感謝しています。老眼大学で映写

した各部・サークルの活動の動画、ホームページから

の発信、新たに導入したデジタルサイネージでの行事

の広報など積極的な発信に努められました。

ところで、昨年はコミスタこうべにとっても大きな変化の年でした。

新型コロナウイルス感染症が2類から5類に引き下げられ、私たちの生活もコ

たつて歴史を刻んでこられました。この間の、運営に携わられた先人の方々や老眼大学会員の皆様のご努力に対し、深く敬意を表します。

皆様におかれましては、豊かな人生経験のみならず、学ばれた実績を地域に還元していただき、生涯学び続けたいという思いを込めて、

に役立てていただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、神戸老眼大学の皆様のご健勝とご多幸、そして貴会

ますますのご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

いたいただきスムーズな運営ができています。導入まで数回にわたり行った説明会では熱心な議論をしていただき、さまざまな問題点を導入前に改善することが出来ました。

現在では、貸室利用の70パーセント程度がアジサイネットでの予約になりました。

また、貸室の表示方法の変更にも柔軟に対応していただき大変感謝しています。

最後にりましたが、皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

今年は今まで通りのように行動が可能!



神戸老眼大学会
会長
高松 澄夫

新しい年、令和6年を新たに迎えました。永かった暗いトンネルの出口に立った瞬間、元日早々能登半島で地震が勃発し大きな被害をもたらしました。震度7の揺れに家屋倒壊崖崩れ・道路の寸断・インフラの崩壊と大きな災害をもたらし、日を追うごとに被害は拡大し、孤立の集落も数十か所あり救援物資も滞りありさま。

29年前を思い出し被災者の苦難を我々の経験したこと、がまざまざと蘇ってきました。老眼大学の皆様も同様に感じられたことと思います。

追悼のために東遊園地で行われる灯を灯す竹筒が神戸ではすべてを賄えないため、島根県から600本ほど届けられたそうです。

★ルミニナリ工が今年から1月に！
神戸で行われている犠牲者鎮魂のため始まったルミニナリ工も永らく中断していましたが、今年から1月に変わりました。

さて、新型コロナが始まる前には会員増が右肩上がりになり、矢先に新型コロナが蔓延し始め、ついに大

幅減となり、サークル部も廃部や休部があいつぎました。国内のすべての行事やイベントなども、ほぼ元通り実施されるようになってきました。老眼大学会も今後なお一層の努力が求められます。

★5月に神戸で世界パラ陸上開催!
今年、東アジアで初めて開催されるパラ陸上が神戸の地で開催されます。

神戸においては、従来から障害者に対する福祉や、バリアフリーなど様々な措置が行われてきましたが、これを更にさらに拍車がかかるのではと思います。

★活動の場を絶やさないと!
前置きが長くなりましたが神戸老眼大学会では、新型コロナ前は700人以上の会員が400人台まで減少し、高齢化の為、体力の低下による退部などがあり、老眼大学会では、会員の増加を推進するべく、老眼大学の受講生にも講演会やバス旅行などにも多数ご参加して頂きました。

今後PRや勧誘などを、もっと積極的に活動していきたいと思っております。60年以上の経歴を持つ老

眼大学会、先輩諸氏が脈々と培って来られたこの会の火を消してはなりません。会員皆様の口コミで、健康保持・体力の増進を図り、友達を沢山つくり、楽しい日常生活を送るお手本としてご紹介いただければと思います。

老眼大学を受講されなくても参加できますので、大いに勧誘活動を進めてほしいと思います。

★皆様のお知恵を結集しよう!
さらに新しいサークルを立ち上げるのも考えております。男女を問わず誰でも気軽に出来るものがあればご提案頂きたいと思っております。

それと大学のイベントといえ、「新年祝賀会」「定時総会」「敬老記念会・文化祭」「例会」などですが、各サークルを盛り上げる行事を実施したいと考えています。

★文化ホールでPRや勧誘会をやるう!
1昨年は、納涼の旅・錦秋の旅も復活し、本年は伊勢方面を訪れ老眼大学の受講生も多数ご参加いただきました。今後も会員皆様は少しづつ前に向かって進みつつあります。こころばらくは苦難が続きますが、役員の皆様初め会員皆様方と力を合わせ、この難局を乗り越えましょう。

最後にになりましたが、会員皆様のご健康とご多幸と共に大いなるご活躍を祈念いたします。私のご挨拶とさせていただきます。

有難うございました。

参加者の協力で、定刻どおり湊川神社東側を総数89名、バス3台で、紅葉狩りの期待を膨らませて一路西へ向かう。

皆さんの日頃の行い良く絶好の小春日和で、数日前の寒さから一転、ぽかぽか陽気で最初の「たつの市内散策」(約90分)では、上着を脱ぐ者が目立つ程となつた。ボランテア(20名単位、3人で3グループ)の説明を熱心に聞きながら市内の名所(小動物園、聚楽亭、三木露風立像、赤とんぼ歌碑、大正ロマン館等)

活用し身体に良い料理を「姫路灘菊酒造」にて食べ、みやげに甘酒(ノンアルコールで、米麹使用)を購入する参加者が続出する程の盛況であった。

食後は、期待の膨らむ紅葉狩りと、円教寺(摩尼殿)の住職さんから、大変ありがた講和を拝聴した。ロープウェイに乗り、山頂からマイクバス移動で摩尼殿へ向かう事になったが、当日は季節的に格別の紅葉めぐりのための入山者も多く、臨時便のロープウェイやマイクバス利用するも、滞在時間に制約があり予定していた三つの堂(大講堂、食堂等)まで足を延ばすことが出来ず残念であった。

また、「円教寺」組と「ヤマサ蒲鉾」組の2班に分かれ見学することになったが、1グループは帰神時間の関係上、足湯(雪彦温泉)はあったものの買物(高品質も高値含み)時間が十分にとれなかったのも、心残りであった(工場の操業は終了していた)。

今回の旅行は、もみじがメインにするも期待はずれ(もみじ等が夏場の猛暑で夏がれ等により、充分な色づけとならず)となったが、絶好の天気で、工程により、若干の階段昇降や坂道の歩行で少し苦勞があったものの、帰りのバス車内では、満足感に浸り、会話がはずみ、全員が無事故で、帰神時間が延びたものの無事に神戸へ戻ることができたのは、これひとつに、参加者の協力と、皆さんの精進の賜ものと感謝する次第であります。

バス旅行 錦秋の旅

参加者の協力で、定刻どおり湊川神社東側を総数89名、バス3台で、紅葉狩りの期待を膨らませて一路西へ向かう。

皆さんの日頃の行い良く絶好の小春日和で、数日前の寒さから一転、ぽかぽか陽気で最初の「たつの市内散策」(約90分)では、上着を脱ぐ者が目立つ程となつた。ボランテア(20名単位、3人で3グループ)の説明を熱心に聞きながら市内の名所(小動物園、聚楽亭、三木露風立像、赤とんぼ歌碑、大正ロマン館等)

活用し身体に良い料理を「姫路灘菊酒造」にて食べ、みやげに甘酒(ノンアルコールで、米麹使用)を購入する参加者が続出する程の盛況であった。

食後は、期待の膨らむ紅葉狩りと、円教寺(摩尼殿)の住職さんから、大変ありがた講和を拝聴した。ロープウェイに乗り、山頂からマイクバス移動で摩尼殿へ向かう事になったが、当日は季節的に格別の紅葉めぐりのための入山者も多く、臨時便のロープウェイやマイクバス利用するも、滞在時間に制約があり予定していた三つの堂(大講堂、食堂等)まで足を延ばすことが出来ず残念であった。

また、「円教寺」組と「ヤマサ蒲鉾」組の2班に分かれ見学することになったが、1グループは帰神時間の関係上、足湯(雪彦温泉)はあったものの買物(高品質も高値含み)時間が十分にとれなかったのも、心残りであった(工場の操業は終了していた)。

今回の旅行は、もみじがメインにするも期待はずれ(もみじ等が夏場の猛暑で夏がれ等により、充分な色づけとならず)となったが、絶好の天気で、工程により、若干の階段昇降や坂道の歩行で少し苦勞があったものの、帰りのバス車内では、満足感に浸り、会話がはずみ、全員が無事故で、帰神時間が延びたものの無事に神戸へ戻ることができたのは、これひとつに、参加者の協力と、皆さんの精進の賜ものと感謝する次第であります。

今回の旅行は、もみじがメインにするも期待はずれ(もみじ等が夏場の猛暑で夏がれ等により、充分な色づけとならず)となったが、絶好の天気で、工程により、若干の階段昇降や坂道の歩行で少し苦勞があったものの、帰りのバス車内では、満足感に浸り、会話がはずみ、全員が無事故で、帰神時間が延びたものの無事に神戸へ戻ることができたのは、これひとつに、参加者の協力と、皆さんの精進の賜ものと感謝する次第であります。



赤とんぼ歌碑



円教寺



ヤマサ蒲鉾



ロープウェイ

各サークル部の発表披露

コーラス部、南京玉すだれ部、能楽仕舞部、フォークダンス部、あづま幼稚園「太鼓合奏」、民踊部、ハワイアンダンス部、謡曲部、唄う民謡部、詩吟部、大正琴部



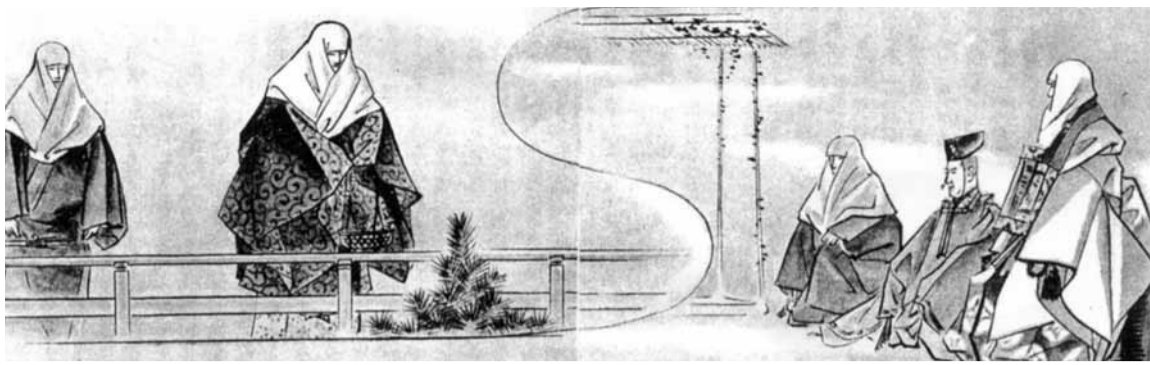
随筆

謡曲「大原御幸」の受難

能楽仕舞部 勢 志 育 扇

この曲は京都・大原の寂光院で一生を閉じたといわれる建礼門院の苦悩と傷心をえがいた物語で、作者は世阿弥の娘ムコ・金春禅竹ではないかとされています。

平清盛と時子との娘として生まれ、高倉天皇の中宮になった徳子・建礼門院は、安徳天皇を産み、女性として最大の栄華をきわめました。しかし壇ノ浦の合戦に



敗れた平家一門と運命を共にして、時子が8歳の幼帝・安徳天皇を抱いて入水するのですが、徳子は源氏方によって救いあげられたため、髪をおろして仏門にはいり、安徳天皇や平家一門の菩提を弔いながら、寂光院でひっそりと余生を送っていました。そこへ義父である後白河法皇が訪ねてきます。女院は、法皇の思いがけない訪問に驚き、問われるままに西海で体験した地獄図のような戦場のありさまや、幼帝の最後の様子などを涙ながら語りまします。



鶉野 (うずらの) SORA かさい

昭和15年・太平洋戦争勃発の前年ですが、当時の軍部が謡本のこのくだりを問題とし、刑法の不敬罪にあたるとして、警視庁から上演を禁止されました。このころ、北海道で「蟬丸」の

演能が陸軍によって中止されること事件もありました。そのため、これらの曲以外についても、能楽の各流派が仔細に点検して、自主的に問題となる恐れのある字句の改訂を行いました。「忠霊」や「皇軍艦」といった軍部に迎合するような新曲も作り上演しました。戦争

納涼の旅

バス旅行

8月25日(金)に参加者総数83名(バス2台に分乗)は、一路中播・但馬路へ向け、納涼の旅に出発。猛暑(連日熱中症アラート発出)のためか参加者が「少なかつたが、前日の雷雨をものももせず予定より早く湊川神社横を好天のもと走り出た(参加者の協力のもと)。



紫電改

最初に立ち寄ったのは『鶉野(うずらの)SORAかさい』で、第二次世界大戦時の「紫電改」が展示された



出石城

た。

次に、但馬の『出石』へバスは向かった。気温34度の猛暑中、市内の古い名所、旧跡の出石城、長鼓桜などを頑張って散策された。熱中症の危険をものともせず、参加者は積極的に見学されていたが、昼食時の『出石そば』に舌づつみを打つも3皿では物足りない(主に男性のつわもの)との会員もおられた。

酷暑の市内見学を早々に終えて参加者の多くはバスへ戻ってくる者がほとんどで、バスは次の目的地『せんべいの里(和田山町)』で小タイムの休憩をとった。館内は涼しく無料のコーヒーが飲めて、せんべいの試食も多種類あり、格安でおいしいと判断のソフトクリームに参加者が列をつくって群がり、さすが夏にあつての風景で、時間が足らずバス発車に乗り遅れが出る程の活況であった。

次に待望の『生野銀山』を散策したが、鉱山内の坑道が13度前後と外気の30度超の世界から一気にヒンヤリとした坑内では、長袖を羽織る参加者も居られた。生野銀山は、1542年に開坑し、1973年に閉坑



生野銀山



生野銀山の電動人形

するまでの間、金・銀・銅・亜鉛・スズを産出していたとの説明あり。そして坑内には電動の人形がリアルな姿(美男・美女と評判)で、坑内作業の模様を再現していた。猛暑から一気に坑内の冷気で身

体を冷やした余韻をお楽しみつつ、バスへ乗り移り、全員無事に一路帰神できた。終りに、今回の新たな試みとして、参加者限定のみであったが、バスの車内でのアンケート調査を実施し、会員の希望地「4月・陽春の旅、8月・納涼の旅、1月・錦秋の旅、1月初春の旅(旧三社まいる)」で、老眼大学会主催のバス旅行の行先を決める一策でありました。この機会に希望など、ご意見がありましたら、遠慮なく各区の理事(世話役)と提供いただきますよう、この紙面を借りて、お願い申し上げます。

世界遺産 吉野千本桜 旅行代金 9,980円-10,980円

桜の嵐山散策 春の嵯峨野トロッコ列車 旅行代金 10,980円

大願寺の薬草料理と樹齢300年「又兵衛桜」 旅行代金 14,500円

世界遺産 高野山へ 旅する観光列車こうや花鉄道 天空 旅行代金 13,800円

恒例 神戸老眼大学会主催 令和6年「陽春の旅」ご案内 旅行代金 14,500円

神姫観光 旅行代金 0570-0570-11

バス旅行

初春の旅

今回の初春の旅(旧三社参り)は、老眼大学会会員の拡充を意識して、従来からの考え方を柔軟に対応し、

会員に限定せず、会員外の方にも特例的に参加募集を可能にしたことにあります。改めて、皆様に、感謝申し上げます。

さて、当日は近畿北部を中心に大雪警報が出る中、最悪のコンディションが予測されるも、参加者全員の協力のもと、予定より早くバスを出発させる事が出来ました。改めて参加者、皆様にお礼を申し上げます。

バス3台に分乗したばす旅行は、バス会社の好判断により、帰路では、当初予定のコースを一部変更し、高速道路(一部通行止め)



伊勢神宮内宮

を回避して、ほぼ予定通り帰神することができました。本当にありがとうございます。

伊勢神宮内宮・外宮の「お詣り」は好天に恵まれ参加者は、寒さをものともみせず多くの方は満足された様子で、特におかげ横丁では、大勢の方が伊勢名物の赤福餅(赤福のまわし者で

は、大勢の方が伊勢名物の赤福餅(赤福のまわし者で



おかげ横丁

はありません)のみやげ袋をぶら下げて、ひとりの脱落者もなしに無事参詣を済ませることができました。

帰路のバス車内では、参加者が暇をもて余すことなく、ボケ防止の替え歌(お座敷小唄)・一文字の間違い探しと三重県にちなんだ(バスガイド提供)クイズビン

ゴゲームによるおみやげの提供など、盛りだくさんのゲームクイズで、明るく楽しく和やかな一時を集中して過ごすことができました。

また、会員外の参加者に対しても、老眼大学の各種行事を紹介し、大学への加入勧奨としてPRに努めたことが特徴的でした。

いずれにしても参加者全員が定時どおり無事帰神できましたことが何よりであります。参加者皆様の協力に重ねて感謝し、この紙面を借りてお礼申し上げます。

さらそうじゅ 沙羅双樹



お釈迦様が涅槃に入った時その四方に2つはえていた沙羅の木

歌壇

いつだって「変わらないね」から始まって同窓会は宴のたけなわ 梶原 みつる

目覚めれば今日の一日がありがたく明日を思う老の日に 坂西 妙子

目が合った盲導犬にほだされて柄にもなくて募金をした 清瀬 憲一

準備良きと作りし夫は隠さん料理の技なり 最上 さちこ

甲子園戦い切った敗戦にこみあげぐ涙かみしむ球児 根岸 武

キリスト様も哀れ紹(のたま)うエルサレム愛する民よ 下山田 靖子

鏡をすてよと 悠子

久々に友と語らうテイルム雑を認めて笑い合う声 三木 もゆる

ふりかえるゆうひの野辺のこすもすの思いおもいにゆれるいのち 渡邊 昭利

海上を鳥居に寄れば見張べき錦いや増すあきの宮島 甲田 節子

朝焼けの空に向って歩みたり今日より始む再度の一步 中原 三和子

十八年この日を待った優勝に夫は「よっしゃ」雄叫あげて 杉木 敦子

二人共足に異常の見つかりて老々介護の日々がはじまる 平野 正明

雨が降る私の生き様悪かつたもつと降れ降れすべてを流せ 中 原

我々短歌部は毎月第3月曜午後1時より婦人会館で短歌の勉強をしています。

講師は中川 昭(海市主催)氏です。いつでも見学に来て下さい。 連絡先・090-9876-6448

寄付金拝受

令和6年1月末現在 敬称略

能楽仕舞部へ

5万円 北区 勢志 稔

神戸老眼大学会へ

10万円 匿名にて

訂正

第157号

(誤) 民謡部

(正) 民踊部

増刊号裏面4段

(誤) 老眼大学会

(正) 神戸老眼大学会

あとがき

和顔の発行を楽しみにしている事とおもっています。が編集をしている担当の者は専門でないだけに四苦八苦しております。この所、会員の減少とこの会の状況を考えますと、なんとか会員の増強をして、もつと活気のあるこの会を盛り上げてゆきたい事を考えています。会員の皆様の原稿をお待ちしております。

「和顔」の原稿募集

下記の通り原稿を募集しますので、多数の方の投稿をお待ちしております。

〈内容〉

- ★老眼大学会に関して(良かったこと、要望等)
★サークル活動の現況、想い出等
★随筆、紀行文等
★詩、短歌、俳句、川柳等

なお、投稿いただきました原稿については、紙面の都合上、次回以降の掲載に、また、編集上の取捨添削についてはご容赦願います。【原稿は返却いたしません。】

〈次回投稿期限〉令和6年5月末日まで
〈提出先〉神戸老眼大学会事務局

あなたに「ありがとう」が返ってくるギフト。



無料 サンプルの請求はこちらから。

ロゴ焼印で得意先の社内で名前が広がります。

印刷のことなら

IMPACT PLAN

インパクトプラン

〒654-0103
神戸市須磨区白川台 3-62-1-411
Tel/Fax: 078-792-7781
e-mail: yz.yama@kdr.biglobe.ne.jp